



長野県下條村長
伊藤 喜平 氏

「持続可能な 村づくり」

何もない村だから村民にお願いした。こんな貧乏村で全部行政がやれやれということとは駄目だと。そこで材料を支給するから（地域で）やってとお願いした。（材料支給事業は）建設費が大体7分の1でできる。（成功の秘訣は）本当に村民の皆さんが少しくらいやほでも下條村がよくなるなら頑張ってみようという協力姿勢になったから。みんなでチャレンジすれば何もない村でもどうにか行ける。わたしがよかったと思うのは町村合併をしなかったこと。それは反応が早く、個々への対応がうまくいく。

今、リーダーがいない。学級が崩壊しているのはリーダーがいないから。子どもたちは多人数で遊ぶ能力がない。総合型スポーツクラブ（＝クラブ）は、リーダー育成に絶好。リーダーやサポーターをつくって、スポーツの教育的機能を広めていけばいい。最後に地域づくり安心社会。地域が動いて、行政がサポートするシステムが大事。クラブづくりは、まちおこしと一緒に、人づくりになってくる。クラブをすれば人づくりができる。まちおこしも人づくり。後継者をつくり安心社会をつくってほしい。

「スポーツは 日本を動かす」

愛媛大学教授
堺 賢治 氏



Lecture and report



北海道本別町長
高橋 正夫 氏

「安心安全の まちづくり」

平成10年に大水害、平成12年に口蹄疫があった。本別町民が一つになるという大事な指令を天から与えられたと思う。町はこれでみんなが一つになってまちづくりをした歴史がある。みんなが力を合わせれば、町が変わる。町を救えることを町民に大変な学習をしていただいた。合併問題もあった。財政は大変だった。交付税が3分の1にカットされた。しかし、こんな時だからこそみんなで汗を流して知恵を絞ろうと。そしてどこにも負けない日本一の心の温かい町をつくらうという合言葉にした。

木倉公民館を地域の発信基地として年間350回使用。（組織は）10団体と地区代表、2つの専門部からなる。ほかの地区に先がけ、校区社会福祉協議会を結成して約15年。木倉分館の努力目標で▽青少年健全育成の防犯ネットワーク▽世代間交流「語ろう会」▽防犯パトロール▽あいさつ運動—を実践。今後の課題は、あっちを向いている人（参加しない人）をこっちに向かせること。キーワードは▽子どもたち▽財源▽空いているもの▽高齢者の経験—などに感謝して、感動をもって取り組みたい。

「全員参加の 地域づくり」

公民館木倉分館長
田中 恵三 氏



自治体報告では、兵庫県で初の女性町長に就任した播磨町の清水ひろ子町長が講演。子ども医療費無料化や入院費助成、病後児保育など、充実した子育て支援策を紹介しました。

続いて、世界遺産「熊野川」で唯一の船大工として伝統を継ぐ三重県紀宝町の谷上嘉一氏が地域活動を紹介。高齢化で「熊野川」の歴史や文化への危機感をきっかけに、三重県の事業を活用し、熊野川部会を設立。その後、熊野川体験塾と銘打った自然体感型の観光を地域住民と一緒に展開。テレビや新聞などで取り上げられ、今では予約待ちの状態。谷上氏は「地域がひとつになればなんでもできる。自分たちの地域をどれだけ愛しているかにつぎ」と力説しました。

終盤には、「地域の自立」と題したシンポジウムに出演した長などが再登場。各パネリストは地域の未来を願い、その思いが熱い言葉となって観衆の心へメッセージを投げかけました。



兵庫県播磨町長
清水 ひろ子 氏



徳島県上勝町長
笠松 和一 氏

2

3

1「地域の自立」を題材としたシンポジウムには出演者8名と開催地代表の山本孝二町長が参加。予定時間を上回るほど熱い議論が交わされた。2オープニングセレモニーで開催地代表の力強い太鼓を披露した水越風神太鼓。3カルチャーセンターロビーの一角に設けられた物産展コーナー。御船町を代表する工芸品や商品がずらりと並び来場者で混雑した

第2回地域づくりサミットinみふね

郷土愛こそ地域おこし。

今、全国至るところで飛び交っている言葉「地域づくり」。

一見簡単そうに聞こえますが、成功した自治体や団体は数えるほど。それは、その地域にこそ存在する価値や魅力を多角的に捉えないと真の「地域づくり」は見えることもなく成しえることはありません。

今回、全国有数の「地域づくり」先進地が、ここ御船町に集結。そこで報告された活動や事例をレポートしながら「地域づくり」への道を探ってみます。



三重県紀宝町
紀宝スポーツクラブ理事長
谷上 嘉一 氏



広島県北広島町
NPO い〜ね・おおあさ理事長
保田 哲博 氏

全国地域づくりサミットinみふね（フネッピーすこやかスポーツクラブ主幹）が7月3日、カルチャーセンターで開催されました。

この大会は、総合型地域スポーツクラブ間の交流や情報交換を行い、地域のスポーツや文化の振興、地域づくりを目的として、今年で2回目。全国から地域づくりの第一線で活躍する自治体や団体などの長が講演や活動を報告。県内外から詰めかけた約360人が終始熱心に耳を傾けました。

開会に先立ち、オープニングセレモニーをとめたのは水越風神太鼓。力強く、そして華やかな太鼓の音が場内に鳴り響き、来場者を手厚く歓迎しました。